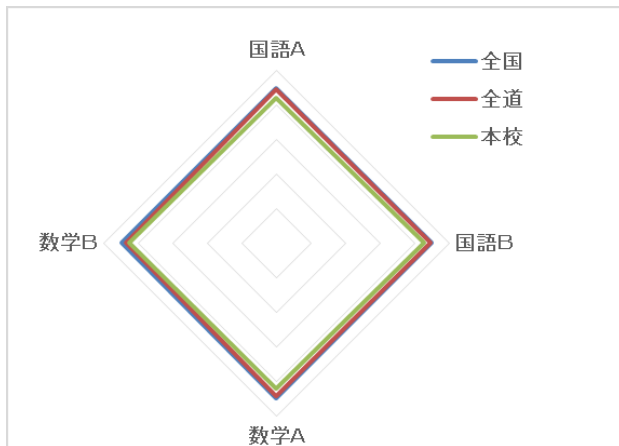


平成29年度全国学力・学習状況調査 から

本校3年生の概要

◆全国を100とした場合の到達率です。※全道と全国は、ほぼ同じ到達率



★国語・数学ともに、全国・北海道の平均正答率を若干下回っているものの、A問題(基本)、B問題(発展)ともに、全道・全国とほぼ同じポイントに近づく改善傾向が見られます。

各教科の様子

【国語】

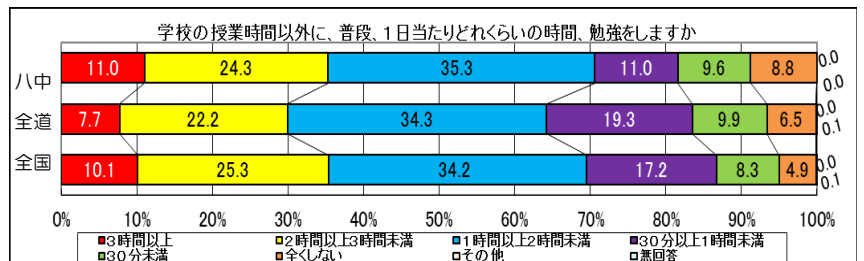
- 文章の構成を工夫して、わかりやすく書く力に優れています。
 - 表現の仕方についてとらえ、自分の考えを書くことができます。
 - 目的や意図に応じて、材料を集め、自分の考えをまとめることに課題があります。
 - 必要な情報を集めるための見通しを持つことに課題があります。
- ⇒目的に応じて資料を整理し、情報や資料の精査を正確に行うような活動を重視する授業を進めます。

【数学】

- 図形についての見方や図形の性質を論理的に考察し表現することができます。
 - 事象を図形間の関係に着目して、観察し、相対性を的確に捉える数学的な見方や考え方ができます。
 - 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する力に課題があります。
 - 二元一次方程式の解の意味、連立二元方程式を解くための知識・技能が不足しています。
- ⇒習熟度別少人数指導によるきめ細かな対応を行い、一単位時間の授業の中で、多くの「確認問題」や「練習問題」に取り組む活動を設定することで基礎基本の定着を図ります。

生活習慣・意識

「朝食を毎日食べる」割合は全国・北海道を上回っていますが、「毎日、同時刻に起床・就寝している」割合は全国平均を下回っています。「ゲーム・携帯電話・スマートフォンにかけている時間」が多く、家庭における時間の使い方に課題が見られます。



「自分にはよいところがあると思う」、「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」など自尊意識、自己肯定感は全国を上回っています。

今後の取組 「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、授業改善に努めます。

- ①授業改善～「見通す・振り返る」学習活動の充実
- ②多様な取り組みによる学力向上：習熟度別少人数指導や学習支援による基礎基本の定着
- ③学びの機会の充実による学習習慣の確立：放課後学習・長期休業中の学習会・「朝読書」・学習規律の確保
- ④小・中学校の連携：9年間を見通した学習（基礎・基本の学習）による学習内容の定着
- ⑤進路学習（キャリア教育）により学習意欲を喚起：継続的に学習する姿勢